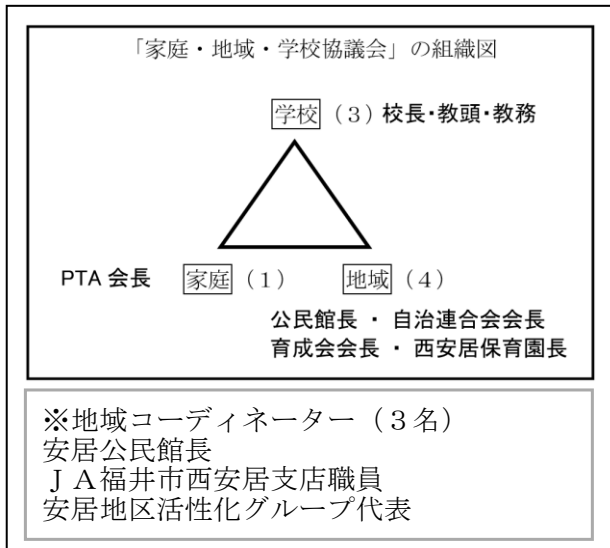


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市安居小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

第1回 (6月) (小中合同)

- ・本年度の学校経営方針について
- ・本年度の学校行事
- ・研究の概要について

第2回 (11月) (小中単独)

- ・児童の活動状況について
- ・中学校区教育の取組について
- ・全国学調、児童意識調査から

第3回 (3月) (小中合同)

- ・令和元年度学校評価結果の説明
- ・令和2年度学校運営について

(3) 協議会における成果と課題

教育活動の積極的な公開については学校評価において93%が肯定的評価となっており、この取組については概ね達成されていると考える。地域の人材活用においても校内外の授業や行事等において参加または指導助言をいただく機会も多く、子ども達の活動に大きな力となっていた。

園小中の連携においては、ふれあい音楽会、わくわく交流デー、小中ボランティア、中学校学校祭など、または、日頃の授業等で合同の取組が見られ、大変効果のある学習活動となった。さらには小中合同の研修も行い、教員同士の連携も深めることができた。

協議会においては学校関係者からの評価や助言をいただき、普段の教育活動や新年度の教育活動をさらに工夫する良い機会となった。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

自分たちの地域の歴史や文化、産業や環境などについて調べたり、課題を改善したりする体験学習を実施することで、ふるさと安居に誇りや愛着をもち、地域のために主体的に行動する児童を育成する。

(2) 活動の実際

①米作り体験と地域での販売 (5年生)

米作りの方法について授業中に調べ、学校田での米作りや稲刈り、収穫後の活動について計画を立てた。地域の方に教わりながら、5月17日に田植えを、9月11日に稲刈りを実施した。収穫した米は地域の方から精米機を借り学校で精米を行い、袋詰めやパッケージをした。

10月27日のPTA祭において米作りについての調べ学習掲示や発表を行い、地域の方に販売した。さらには、家庭科の調理実習に使用したり、給食の主食として全校児童に振る舞ったりした。



②安居こども観光大使の活動および発表（3・4年生）

4年生は昨年度、安居公民館より安居こども大使に任命され、今年度「住みよい安居の里に」というテーマで福祉についての活動を行った。身体に障害があることについての調査やその障害の疑似体験、バリアフリー調査を行ったり、お年寄りとのふれあい活動を行ったりした。

3年生は「安居はかせになろう」というテーマを掲げ、安居地区の様々なことについての調査活動を行った。最初にPTA行事の親子の集いにおいて、安居のイトコ再発見「ムラロゲイニング」というオリエンテーリングで使用するクイズを地域の方の助言を受けながら作成した。その後、ゲストティーチャーも招いて発表の仕方などを教わりながら、2月28日安居公民館で開催される安居ふるさと大学に向けて、安居地区について調査した内容や安居地区の良いところ等を発表する準備を進めた。しかし、当日はコロナウィルス感染症対応のため行事自体が中止延期になったため、発表DVDと資料を次回実施したときに使用していただくことにした。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- 5年生の活動 田植えや稲刈りにおける地域のボランティアとの連絡調整や準備、当日の活動の説明や補助をしていただいた。
- 4年生の活動 わくわく交流において、お年寄りの方との交流ができるように連絡調整等に携わっていただいた。
- 3年生の活動 クイズ作りやその調べ学習の際に授業に入っていただいて助言を受けた。また、安居地区の歴史等を調べる際に公民館での説明を受けたり、高雄神社の歴史について教えていただいたりした。ふるさと大学での発表の際に連絡調整等に携わっていただき、児童の発表が円滑に行うことができた。



(4) 特に工夫した事項

- ・5年生の活動では、安居地区の米のおいしさを自分たちが知るために調査活動を行い、模造紙にまとめPTA祭で掲示し、来場した多くの方にPRした。
- ・4年生の活動では、昨年度行った安居地区の観光大使としての活動を受けて、福祉にテーマを絞り、安居地区のバリアフリー状況やお年寄りを招いての交流活動を行った。
- ・3年生は、安居地区の歴史・文化・食・自然などについて、7つのグループで分担して発表の準備や練習を重ねた。発表では同様にスタッフジャンパーを着て、来場した方々に安居地区の調査活動の結果を発表した。

(5) 成果と課題

- ・各学年の活動を様々な面で支えていただいております。教員の力だけでは非常に無理がかかることを助けていただいた。また、地域のことを詳しく教えてください、子ども達にとっては充実した活動になり、教育効果も大きい活動となった。
- ・本活動を通し、自分の住む地区の良さに気付いたり、大切にしていこうとする心が育ったりしたと考える。また、そのことを他に発信する良い機会となった。
- ・本事業の人的な支援さらには予算面での支援が有効に作用し、児童の活動を活性化することになった。
- ・これらの教育活動が全学年を通して計画的に行われることが大切である。いずれは自分の将来について考えるキャリア教育にも繋げていきたいと考える。